

新しいモビリティサービスの社会実装に 取り組むパイロット地域募集について

平成 31 年度高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業
(自動走行の実現に向けたモビリティサービスの社会実装事業に関する事業性調査)
の内数として実施しています。

「パイロット地域分析事業」

応募申請書類の作成要領

1. 申請書類は、「別紙 2 応募申請書類様式」に従って記載してください。
2. 申請書類の用紙は A 4 版で、縦置き・横書きにしてください。
3. 申請書類は、電子メールで提出してください。

平成 3 1 年 4 月

株式会社 野村総合研究所

応募申請書（様式1）作成要領

- 申請に当たって、地域名、代表団体の代表者、総括事業代表者（プロジェクトリーダー）等を、様式1に記載してください。なお、右上の受付番号は事務局が提案者の管理を行うための番号になりますので、記入しないでください。

- 記入すべき項目とその内容は次のとおりです。
 - 地域名
提案内容が実施される地域・エリア名を記載してください。

 - 事業プロジェクト名
実証実験の事業プロジェクト名を記載してください。

 - 団体の代表者
代表団体の名称、代表者の役職・氏名、団体の所在地を記載してください。

 - 総括事業代表者（プロジェクトリーダー）
申請内容に関する問い合わせ等の連絡窓口ともなる総括事業代表者（プロジェクトリーダー）について、その氏名、所属部署名、電話番号等を記載してください。

地域の事業紹介（様式2）作成要領

- 様式2は、A4サイズ用紙、縦置き、10枚以内で記載してください。
- 第三者が読んで内容が把握できる表現とすることを心がけてください。
- 下記の作成要領に従って作成してください。

A. 将来構想の全体像

評価：必須項目

- ① **【適合性】** 地域が直面している課題と事業の目的や内容が明確になっているか。地域経済の活性化に関するKPIが設定されているか。
- ② **【適合性】** 将来構想の具体化に向けた検討が進捗しているか。
- ③ **【適合性・先進性】** サービス内容や提供範囲など、将来の姿がイメージアップできているか。（例：自動走行技術の導入可能性）

評価：加点項目

- ④ **【継続性】** 事業の実施・継続について、地域内の関係者間で合意形成がなされているか。特に、自治体が応募主体にならない場合は将来構想に関係する自治体が応募への参加を認識しており、取組を後押ししているか。
- ⑤ **【継続性】** 将来的に事業ベースで自律的・持続的に収益が期待できる事業モデルを目指した検討がされているか。サービスの事業性向上、移動需要の掘り起こし、異業種との連携を通じ地域経済の活性化に資するモデルとなっているか。
- ⑥ **【社会性】** 将来的に事業化に至った際の社会的効果を想定し、地域内外の協力を得るための検討や取組が実施されているか。（小売、物流、医療、自動車、その他スタートアップ企業等の事業者を巻き込める算段があるか）
- ⑦ **【社会性】** 将来的な事業化に向けて、現行法制度や事業者間連携等における課題とその解決方法の検討状況について記載があるか。

A-1. 将来構想の背景と課題認識

自動走行や新たなモビリティサービスを用いた将来構想を検討するに至った背景や課題、それらの要因についての認識を記載してください。本提案に関連する範囲で、地域が直面している問題を整理した上で、取り組むべき課題を記載してください。地域経済の活性化に向けて、地域が設定しているKPIを記載してください。（自由記述）

A-2. 将来構想の目的・全体像

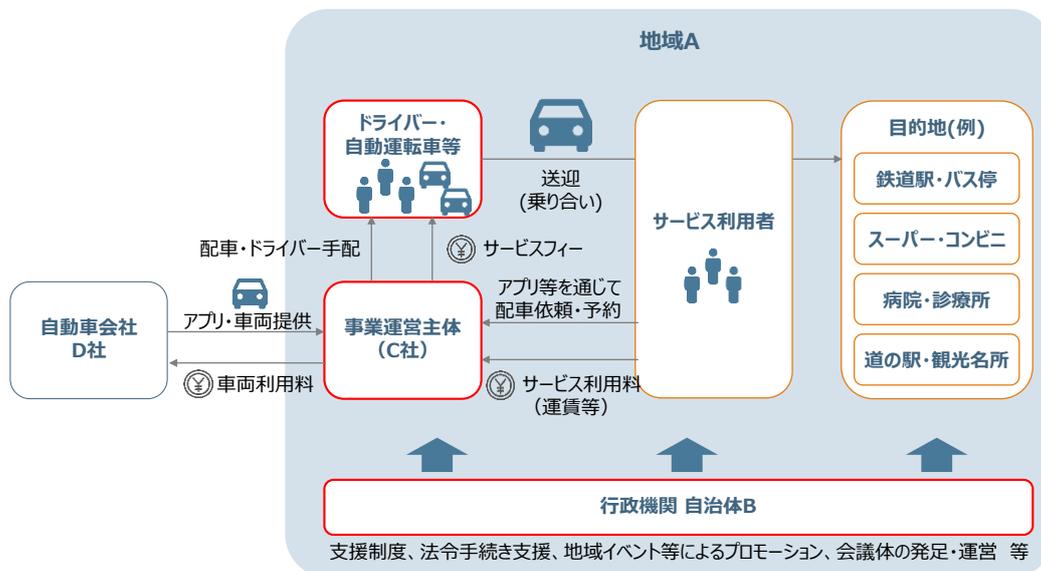
A-1でご説明頂いた課題やそれらの要因の解決に向けて、計画されている事業内容を記載してください。事業の概要や目的、期待する成果について、事業の目的や数年先も含めた全体像などを記載してください。（自由記述）

A-3. 将来構想のサービスモデル

今年度によらず、最終的に考えている将来構想のサービスモデルを記載してください。現時点で答えられる範囲で構いませんので、事業のサービス内容やモビリティサービスの運行頻度、サービス提供範囲などを記載してください。

また、以下の記入例を参考に、今後検討する事業ベースで自律的・持続的に収益が期待できるモデルの想定を記載してください。なお、図中の機関・事業者名は、可能な限り具体的な機関・事業者名を記載し、お金とサービス提供の流れの全体像が分かるように記載してください。（自由記述）

(例1)



(例2)

サービス提供者	サービス内容	提供価値	想定利用者
<ul style="list-style-type: none"> 目的地となる施設運営会社（鉄道・バス、ショッピングモール、スーパー・コンビニ、病院、ホテル、観光施設等） 地域コミュニティ（商工会、町内会、地域経済団体等） 行政機関（地元自治体） 自動車メーカー アプリ開発会社 	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー・自動車の最適配置 目的地との交渉（クーポン発行などの商業的な連携、駐車場交渉等） 利用者数予測 車両メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客に対して： 移動難民となっている地域住民や、タクシー以外の移動手段を持たない観光客・ビジネス客等への移動手段（利便性）の提供 地域企業に対して： 利用者への広告媒体として活用してもらうことで、域内(相互)送客 地域全体に対して： 渋滞の解消・緩和 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民（移動難民となっている高齢者、バス廃止路線にある●●団地の住民等） 観光客 ビジネス客（出張者）
主な費用 <ul style="list-style-type: none"> 自動車レンタル・リース費 アプリ開発費・利用料 運営人員の件数費 地域コミュニティへの利用インセンティブ・周知費用（周知チラシ等のマーケティング費用） 		主な収入 <ul style="list-style-type: none"> 利用者からのサービス利用料（運賃） 商業施設等からの広告料（車両内広告やアプリ上でのクーポン発行等のマーケティングサービス利用料） 	

B. 実証実験の実現性（位置付け・内容、先進性・独自性、体制、スケジュール）

評価：必須項目

- ① **【具体性】** 検証課題と検証方法が具体的にになっているか。
- ② **【先進性・独自性】** 今回実施する、または、実施した実証実験が、技術面・運用面において先進的・独自性のあるモデルとなり得るか。
- ③ **【実行性・継続性】** 代表団体や参加団体の役割、取組内容が明確に記載されているか。将来、事業主体となり得る主体を含む、継続性のある体制が組まれているか。

評価：加点項目

- ④ **【実行性・社会性】** 想定利用者の潜在的なニーズが把握できているかどうか、もしくは、把握するためにアンケート等を実施する計画があるか。
- ⑤ **【実行性・社会性】** 交通関係事業者以外の民間企業（例：小売、物流、医療、自動車、その他スタートアップ企業等）が参画しているか。
- ⑥ **【社会性】** 地域における自治体や民間企業の関係者の積極的な関与・連携が見られるか。

B-1. 実証実験の位置付けと実施内容

今回実施する、または、実施した実証実験について、Aでご説明頂いた将来構想の全体における位置付けを記載してください。また、実証実験の内容、実証実験で検証する項目や達成すべき目標を記載してください。（自由記述）

B-2. 実証実験の先進性・独自性

今回実施する、または、実施した実証実験の先進性・独自性を説明してください。ここでいう先進性・独自性とは以下のような場合を指し、該当が多い方が望ましいものとします。AI や IoT を使用していることは、本事業に応募するための前提条件であり、先進性・独自性があるとは言えませんのでご注意ください。（自由記述）

- ・ 地域内の特色を生かした取組を進めている
- ・ 他地域や他サービスと比して普及が進んで、より高度な取組への挑戦
- ・ 地域内外のステークホルダーと連携を進めて、合意形成に取り組んでいる
- ・ 特区制度やサンドボックス等の規制改革スキームを活用している、または、活用を予定している
- ・ 自動走行（車両に加え、パーソナルモビリティや配送用ロボット等も含む）を活用している、または、予定している
- ・ 複数の公共交通機関同士や、クルマと公共交通が連携したサービス
- ・ 自治体を跨いだ広域のサービス
- ・ データ連携基盤の構築に向けた取組

B-3. 実証実験の実施体制

関係事業者の実施内容・役割分担を一覧表にして作成してください。その際、特に以下の事項に関する記載を含めるようにしてください。（自由記述）

- ・ 新しいモビリティサービスを推進するため、地域の経済団体、企業等地域の関係者をメンバーとする委員会を設立している、または、その予定があること
- ・ 地域の交通事業者・金融機関、スタートアップ企業が参画している、または、参画する予定であること など

○本事業の応募主体

関係事業者（例）		実施内容・役割
代表団体	（A社）	
参加団体	（B団体）	
参加団体	（C社）	
参加団体	（D社）	
参加団体	．．．．．	

○協力団体

関係事業者（例）		実施内容・役割
協力団体	（E社）	
協力団体	．．．	

○連携組織

組織（例）	参加団体	実施内容・役割
○○協議会	（A社）、（B団体）、（C社）	
○○ コンソーシアム	．．．．．	
○○共同企業体		
第3セクター		

B-4. 事業計画（スケジュール）

平成31年度・令和元年度の年間スケジュールを、Aで記載した実施項目毎に、月次で記載してください。会議日程等、マイルストーンとなるイベントを記載してください。（自由記述）

（記入例：事業計画）

実施項目	平成31年度・令和元年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1. ○○○○○	→											
(1) ○○○○○○○								→				
(2) ○○○○○○○								→				
(3) ○○○○○○○												
2. ○○○○○○○												
(1) ○○○○○○○				→								
(2) ○○○○○○○								→				
3. ○○○○○○○												
(1) ○○○○○○○								→				
○○会議日程							○					

C. 特記事項

その他、特記事項があればご記入ください。（自由記述）

代表団体の概要（様式3）作成要領

- ・ 様式に従い、代表者たる団体または企業の概要について、所定の事項を記載してください。基礎自治体の場合は作成不要です。

連携内容の提案書（様式4）作成要領

- ・ 様式に従い、地域が実施する実証実験と本事業の連携の進め方を記載してください。
- ・ 本事業の実施主体として、NRI の代わりに、地域の状況に精通した他事業実施者を指名するかを選択してください。
- ・ 記載内容は、応募者からの提案であり、全ての実施を確約するものではありません。最終的には事務局と協議の上で、決定することとします。

（必要に応じて）

他事業実施者等の概要（様式5）作成要領

- ・ 様式に従い、他事業実施者等の概要について、所定の事項を記載してください。